

令和7年度 在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラム in 妹背牛

項 目	内 容
テーマ	わかち愛もせうし劇団によるオムニバス介護劇 「ぽけぽけバンザイ」
1 目 的 (テーマ設定 の意義)	① 自分自身や家族の今後の生活の送り方について考える機会を作る。 ⇒ 背景) 北空知の高齢化率は43.8%で、全国平均を上回る超高齢化社会が最先端に進んだ地域である。高齢者は何かしらの疾患を抱えながら認知面に支障をきたし在宅生活をつづけている現状がある。認知症になっても安心して地域で暮らせるにはどのような対応・環境整備が必要なのか、介護劇をもとに考える機会とする。 ② 認知症の理解と対応について学ぶ機会を作る。 ⇒ 背景) 認知症に対する対応でその方の生活の質が変わると言われている。介護劇を通して正しい対応について理解を深める。
2 目 標	(1) 自分の今後の生活をどう迎えたいかを考える機会となる。 (2) 認知症の理解と対応について学ぶ機会となる。
3 内 容 講 師	(1) はじめのあいさつ 妹背牛町長 滝本 昇司 (2) 妹背牛町の取り組み紹介 (3) 介護劇 「ぽけぽけバンザイ」 ～わかち愛もせうし劇団によるオムニバス介護劇～
4 参集範囲	北空知管内の住民
5 日 時	令和7年11月23日(日) 開場12:30 開始13:00 終了15:00
6 場 所	妹背牛町民会館
7 出席者	194名(妹背牛町114名、深川市27名、秩父別町26名 北竜町2名、沼田町6名、その他19名) (一般181名、支援関係者13名)
8 結 果	(1) 妹背牛町の取り組み紹介 アンケート結果より、わかりやすい説明で、認知症に対する町の取り組みが理解できた。と高評価であった。 (2) 介護劇 「ぽけぽけバンザイ」 介護劇では、日々日常でみられる認知症の方々を取り巻く姿を演劇の中でわかりやすく、老若男女に伝わるように表現されていました。アンケート結果からは、難しい講演を聞くよりも演劇の方わかりやすかったという意見が聞かれ、演劇を通して、高齢化社会の課題と認知症に関する理解を深めることができました。また、日々介護と向き合う年代からは、自己を見つめなおす機会となり、若年・壮年期の今後近い未来に認知症と向き合う年代からは、今後の事を考えた生活設計が必要であるという意見が聞かれ、演劇を通して今後の生活を考える機会となりました。

	演劇では、キャストの方々の熱心な演技、笑い涙があり、こころ温まる、癒しの要素も多く含まれていた内容でした。アンケートでは、今後も続けてほしい・他の地域でも開催してほしいとの意見も聞かれました。以上のことから住民フォーラムの目的は達成できたと考えます。次年度に向けては、今年度の成果を振り返り北空知地域医療介護支援センターの活動方針をもとに部会での活動について検討していきます。
--	---